

三大字地域資源保全会（苧宿部落・酒田部落・西台部落）

担当者：代表 佐藤光衛

1 一本の水路に面した地域を活動範囲とした為、3部落と広範囲になっている

1) 300戸の内、農家は30%の90戸、ほかは非農家でしめられている

2) 各組織は以下の様に苧野小学校を含む 20団体からなっています

苧宿：行政区・営農組合・水路維持管理組合・消防団・育成会・婦人会・コスモスクラブ

酒田：行政区・営農組合・水路維持管理組合・消防団・育成会・婦人会

苧野小学校

西台：行政区・営農組合・水路維持管理組合・消防団・育成会・長寿会

2 非農家の人達を如何にして活動に引き込むのが課題でした

幸い以前から行政として、又水路維持管理組合として部落民一体
となって協力する土壌が3部落とも共通に有った

3 この事業をより効果的に進める為

1) 地域の子供からお年寄りまで全ての方々に参加してもらう事を考え実行する
そのことにより、農家、非農家の協力関係を強くする

イ) 季節の花を植え管理、観賞する（3部落共）

ロ) 花の中でもひまわりの花を畑に植え、上空から見ると文字が浮き立つ様植える
西台地区で実施、役場・小学生・駐在所からも参加
（子供達の夏休みに開花時期を合わせて開催）

ハ) ホタル観賞会を開催し地域内外からも参加してもらう為、小学校へ
開催要綱を持参し配布を子供を通じて実施（美しい水）

ニ) 行政とタイアップし収穫祭を開催、サツマ芋の植付けから収穫までは事業で、
その他は行政で負担して行う

ホ) 農道の近くの樹木の名札をぶら下げ、樹木博士になってもらう

ヘ) 5年間で肝心の水質の良否はどうなってるかトレンドで見れる様に

2) この事業が終了しても、仕組として残り次世代に引継がれば良いと思う
（H21年に体制整備構想を作成した）

イ) お金の使用先の規制は有るが、その範囲内で残せる物を

ロ) 出来る限り地域の重機、地域の人と、おなじお金を使うのなら地域内にを
モットウニ事業をすすめています